

倉掛新聞

〈発行所〉
倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長／谷 和政
〈編集〉
倉掛自治連合会
倉掛少年団育成会
消防井原分団第3部

豪雨で深夜避難



岡山県や広島県など、西日本に降り続いた豪雨で7月6日夜、小田川がはん濫危険水位を超えたことから井原市全域に避難指示が発令され、一部の市民は近くの小学校などに避難して一夜を明かした。

小田川堤防 あわや越水

水かさはその後も増えて午後11時40分に、はん濫危険水位を1m以上超える3m96に達した。倉掛裏（井原大橋上手）では濁流が土手の高さまで20cm～30cmと

迫り、数十年に一度と言われる大水の光景に人々は肝を冷やした。倉掛自治連合会は、消防団や民生児童委員と連携しながら障害者や高齢者の避

難をサポート。つどえ〜るでは、数家族が不安顔で一夜を明かした（写真下）。深夜の避難だったが住民らは落ち着いて行動し、けが

つどえ〜るのテレビで井原放送の河川情報を心配そうに見る住民＝7月7日午前1時

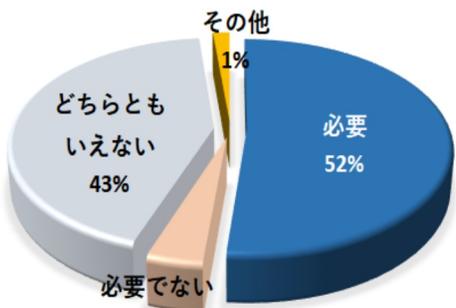


人も出なかった。しかし、小田川下流の倉敷市真備町では、高梁川の増水に伴い水がせき止められるバックウォーター現象が起こり、水位が急上昇して2カ所で決壊。末政川などの支流も計6カ所で堤防が崩れ真備町の4分の1が冠水した。浸水の深さは最大で5.4mに達したとみられ、50人を超える死亡が確認されている。7月27日に開かれたつどえ〜る防災学習交流会で講師を務めた防災士の猪原孝弘氏は、このたびの西日本豪雨や、国内における近年の洪水傾向を分析し「災害が少ない岡山県も今後は予断を許さない」などと、安全神話意識を改める必要性を訴えた。

防災意識を確認

倉掛自治会臨時総会

西日本豪雨から40日余りが経過した8月17日、地域住民の避難行動に関する緊急アンケート結果をまとめた倉掛自治連合会が臨時総会を招集し、今後の対応策を協議した。開会にあたって同会の谷和政会長が「災害に備え安心して住める地域づくりに向けて皆様の協力をお願いします」などと挨拶。協議に移り①アンケート



■防災訓練や連携協議は必要か

調査結果の件、②市への要望の件、③自治連合会への要望の件、④その他の項目

市へ要望書を提出

防災力アップ作戦始動

倉掛自治連

7月豪雨について住民アンケート調査を実施し、その集計結果をまとめた倉掛自治連合会は8月20日、谷和政会長と山本勝己広報広聴部長が井原市協働推進課を訪れ、瀧本豊文市長宛の要望書を提出した。回答は一カ月後とみられている。この要望書は倉掛地内に



おける治水に関する事項や住民の声をまとめたもので、「避難場所へ防災備品を一定量置いてほしい」「避難場所が高齢者や障害者が横になれるスペースの確保」「警報発令後は、お知らせ

くんや井原放送等を利用して避難場所を含めた細かい情報を随時（30分おき程度）知らせてほしい」など13項目を記載した。7月5日～7日、倉掛では元大西歯科付近が冠水を繰り返した。原因が平成24年5月、動力式に改良された井原大橋北の倉掛排水ポンプ樋門からの逆流とも考えられるため、排水能力の検証と電源スイッチを深夜の増水にも対応する自動式へ変更するよう要望した。

自治連アンケート 主な回答

- ・避難指示場所の防災備品が少ない。
- ・アクティブ、地場産、市民会館への避難希望。早期開錠を。
- ・井原小学校への避難は遠い。
- ・小田川河川敷の清掃浚渫が必要。
- ・倉掛排水ポンプ樋門の操作確認は毎年実施すべき。自動運転が必要。
- ・お知らせくんを移動可能タイプにして情報伝達能力の向上を図る。
- ・倉掛裏の小田川堤防が低いのでは？
- ・つどえ〜るを開放してよかった。
- ・自治連合会役員の声掛けに感謝。
- ・避難の手助けが必要な高齢者、障害者の再調査を。
- ・縦横の緊急連絡網作成と、お年寄りへの対応確認。
- ・地域の防災ボランティアを募る。
- ・消防車のスピードが速すぎて、避難アナウンスが聞き取れなかった。

宛に提出することを諮り、出席者の同意を得た。細羽正敏民生児童委員は「手助けが必要な人たちの避難や救助は、少人数では難しい」と協力体制の確立を訴えた。防犯灯増設については川相勝防犯交通部長が「防犯

灯は電気料金支払者が必要。設置の申請手続きは自治連合会が行います」と一連の手順を説明した。自主防災組織立ち上げ及び連絡網作成は、今の倉掛に欠かせないとして、賛成多数で可決した。

初の大台ヶ原へ

倉掛山岳同好会



吉野熊野国立公園大台ヶ原駐車場

倉掛山岳同好会のメンバー12人が8月11、12日、奈良県と三重県の県境にある日本百名山・大台ヶ原山ウォーク&高野山参拝ツアーに出掛けた。

大台ヶ原は海から湿った風が吹き上げるため、屋久島とともに「1年のうち400日雨が降る」といわれる多雨地帯。連続発生している台風を心配しながら11日午前5時30分、バスでつどえ〜るを出発した。

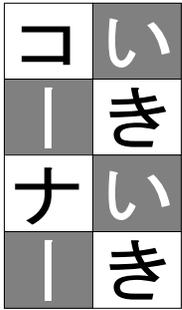
高速道路の渋滞もなく大台ヶ原駐車場へは予定どおり午後12時20分に到着し、さっそく身支度を整え登山道へ。道がよく整備されているお陰で40分後には展望台のある日出ヶ岳頂上(三重県1695m)へ到着。

休憩後、東大台周遊コース(約9km)の正木ヶ原

平成30年7月豪雨におきまして被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

7月7日早朝、真備町では小田川が決壊し、甚大な被害をもたらした。真備町には私の姪と従兄が住んでおり、姪の家は2年前に新築したばかりだった。姪にどう声を掛けたいのか正直とまどった。幸いにもみんな早めに避難していたため、命だけは助かった。

7月10日から復旧作業の手伝いに姪の家に行った。軽トラにスコップや140ℓの水を積んで真備町へ向かうと、そこはまだ災害の爪あとが



色濃く残っていた。見渡す限り泥色に染まる町並み、この変わり果てた姿に改めて自然の猛威に呆然とする思いだった。

家に流れ込んだ川の水は一階の天井から20cmのところまでできており、自動車や一階の家財道具は全て水没していた。悲しみに浸るような余裕はない。1日も早く復旧させるため、猛暑に汗を流しながら、片付けや清掃作業に頑張った。

倉掛地区にも小田川が流れており、小田川が決壊したら・・・と考えると身の毛がよだつ。地域防災について真剣に考えなければいけないと感じた。

倉掛自治連合会
会計 佐能 敏政



7月豪雨 真備に親戚

牛石ヶ原の眺望を楽しみながら進み、スリル満点の絶壁・大蛇窟(だいじゃぐら)にも立ち寄る。快適なトレッキングの終盤、厳しいシオカラ谷の難所が待ち構えていたが、全員頑張つて、雨に遭うこともなく駐車場へゴール。所要時間は約4時間だった。

♡すこやか赤ちゃん♡

祝1歳!おめでとう



すくすく 大きくなーれ!

いとしももか
《16組》糸島百々花ちゃん
《次女》H29年4月25日生
《父親》潤弥さん
「元気で優しい女の子になってください」
《母親》紗矢香さん
「お姉ちゃんと仲よく成長してね!」

元気なおじいちゃん・おばあちゃんの話や、赤ちゃんなどを紹介するコーナーへの情報をお寄せください。

倉掛&七日市探訪ウォーク

井原まち歩き委会

倉掛や七日市の歴史を訪ねる つどえ〜る2018

探訪ウォーク(井原まち歩き委会&つどえ〜る主催)が9月17日に計画されており現在、参加者を募集

倉掛ほっと情報



サロンあすは交流会

サロンあすはが7月26日、つどえ〜るでコケ玉づくりを行い25人が参加した。今回は夏向きの交流会。午前10時前に始まり、苔や水辺植物を水岩石に植え込む作業をそれぞれ楽しんだ。続いてユーモアたっぷりの「シルバー川柳厳選88句」を参加者が順番に朗読して大笑い。最後に童謡「海」を合唱して閉会した。

【とき】9月17日(祝) 集合出発午前9時30分

【行程】つどえ〜るまほろば館→夏目→七日市・アクティブライフ・武神社・七日市駅→小田川→郷社→大正橋西詰→つどえ〜る(約2時間)

【携行品】飲料・雨具

【参加費】無料

【申込先】つどえ〜る

【締切】9月9日(日) している。

◆ 行事予定 ◆

- 8/25~26 つどえ〜るフェスタ2018
- 8/26 井原町ソフトボールリーグ戦 VIP-倉掛 岩野-倉掛
- 9/2 井原市長選挙投票日
- 9/2 井原分団第3部試運転日
- 9/2 倉掛地区敬老会
- 9/8 資源の日 7:30~9:00 市
- 9/14 倉掛自治連合会 役員会&防犯パトロール
- 9/16 樺の杜の市 (門田町大谷)
- 9/17 倉掛七日市歴史探訪ウォーク
- 9/21~30 秋の交通安全県民運動
- 9/23 3世代交流グラウンドゴルフ
- 9/30 井原町ソフトボール トーナメント戦
- 10/14 少年団堤&公園清掃奉仕作業
- 10/28 井原町秋季大祭
- 11/9~10 倉掛少年団夜警活動

※倉掛パソコンクラブ
土曜日13:30~ 日曜日9:30~
※つどえ〜るカフェ(祝日休み)
金曜日&日曜日10:00~15:00

